

平成28年

第1回教育委員会会議録

秋田県教育委員会

平成28年第1回教育委員会会議録

- 1 期 日 平成28年1月21日 木曜日
- 2 場 所 教育委員室
- 3 開 会 午後2時00分
- 4 閉 会 午後4時14分
- 5 出席委員 岩佐 信宏
田中 直美
伊藤佐知子
猿田五知夫
米田 進

- 6 説明のための出席者
教育長 米田 進
教育次長 鎌田 信
義務教育課長 佐藤昭洋
特別支援教育課長 西嶋崇広
教育次長 今井 一
総務課長 佐藤雅彦
高校教育課長 安田浩幸

- 7 会議に附した議案
報告第1号 教育庁等職員の任免についての専決処分報告について
議案第1号 教職員の懲戒処分案について
議案第2号 教職員の懲戒処分案について

- 8 承認した事項
報告第1号 教育庁等職員の任免についての専決処分報告について

- 9 議決した事項
議案第1号 教職員の懲戒処分案について
議案第2号 教職員の懲戒処分案について

- 10 報告事項
 - ・平成28年度秋田県立中学校入学者選抜結果について
 - ・平成28年度秋田県公立高等学校入学者選抜前期選抜志願状況について

- 11 会議の要旨

【岩佐委員長】

ただいまより、平成28年第1回教育委員会会議を開催いたします。

会議録署名員は1番田中委員と3番伊藤委員にお願いします。

審議に入る前に、議事の進行についてであります。議案第1号及び第2号「教職員の懲戒処分案について」は、その他全ての案件終了後に行うこととしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【岩佐委員長】

それでは、そのように進行します。

はじめに、報告第1号「教育庁等職員の任免についての専決処分報告について」、義務教育課長から説明をお願いします。

【義務教育課長】

報告第1号「教育庁等職員の任免についての専決処分報告について」説明

【岩佐委員長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【岩佐委員長】

特になければ、承認してもよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【岩佐委員長】

それでは、報告第1号を承認します。

次に、報告事項に入ります。「平成28年度秋田県立中学校入学者選抜結果について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項「平成28年度秋田県立中学校入学者選抜結果について」説明

【岩佐委員長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【田中委員】

選抜検査の内容について説明していただけますか。

【高校教育課長】

適性検査は、小学校で学ぶ国語・算数・理科・社会の教科横断型で、習ったものを試すような検査です。それから作文と面接です。

【田中委員】

高校入試と同じように、点数などは本人が請求すれば開示していただけるのでしょうか。

【高校教育課長】

得点の簡易開示であります。中学校の入学選抜は適性検査ですので、その性格上、開示は行っておりません。高校の入学選抜における学力検査とは性格が異なるところがあるかと思えます。

【岩佐委員長】

横手清陵学院中学校は、平成23年度から志願者数の減少傾向が続いていましたが、今回、回復しています。特に何か対策をとられたのでしょうか。

【高校教育課長】

志願者数が少ない状況が続いていたので、校長も危機感を持ち、地元の小学校を回るなど、いろいろな発信をしております。横手清陵学院は、スーパーサイエンスハイスクールに指定され、その取組も行われておりますし、普通科においては、進学の実績も上げております。工業系のものづくりのほうでも、活躍が目立つというようなことをアピールしまして、6年間かけて育てているというあたりが、小学校に伝わった結果ではないかと分析しております。

【岩佐委員長】

他になければ、次に「平成28年度秋田県公立高等学校入学選抜前期選抜志願状況について」、高校教育課長から説明をお願いします。

【高校教育課長】

報告事項「平成28年度秋田県公立高等学校入学選抜前期選抜志願状況について」説明

【岩佐委員長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【米田教育長】

五城目高校の倍率は昨年度よりも高くなっています。新聞にも載っておりましたが、大学とのつながりがあるということで、どういうことが行われているのでしょうか。

【高校教育課長】

五城目高校は、東京大学、明治大学と連携した授業を行っており、地元と協力し合い行ってい

る研究等に高校生も入れてもらうなどしております。取組が新聞にも掲載され、学校のPRにつながっているということで、だいぶ地元の南秋地区の生徒が集まったため、例年に増して多いのではないかということでした。

【伊藤委員】

二つお聞きしたいと思います。一つ目は、西仙北高校の倍率が上昇していますが、今回の整備計画の話があった後なので、このような傾向になったのでしょうか。二つ目は、秋田明德館高校についてですが、仕事で明德館高校に進学する子どもたちとも関わる機会があり、普通に学校に来られない子どもたちや、ちょっとイレギュラーな授業スタイルのほうが合う子どもたちが最近多くなっています。今後、フリースクールというか、もう少し規制の緩んだ高校のスタイルというのも増える可能性はあるのでしょうか。かなり倍率も高いですし、ニーズがあるのかと思っていますのですけれども。

【高校教育課長】

西仙北高校は、再編候補に挙げられていますが、これが直接ということではなく、西仙北高校の特色が周りによく発信されているということもあると思います。例えば、サッカー部が強かったり、野球部も頑張っているということもありますし、今年は協和中をはじめ地元の生徒が来ているということと、また、秋田市からの生徒もいるということもあり、志願者数が多かったようです。前期に関しては、去年は定員を割っているので、校長先生たちもだいぶ中学校を回り、PRをしたということもあるようですので、そういった結果だろうと思っています。

明德館高校に関しては、Ⅰ部、Ⅱ部は以前から人気がありまして、委員がおっしゃられるように、多様な学びの姿がある中で、特に定時制の昼間の部は、子どもたちも多様になってきています。自分の学びに合ったところを選択する意味では、明德館高校のⅠ部、Ⅱ部というのは、選びやすいというようなことは聞いております。通信制のような学校も最近はいよいよ全国に増えてきていて、そういったことが全国的に拡大しつつあると思いますので、いずれそういった多様な学校が広がっていくのではないかと考えています。

【猿田委員】

校長先生が中学校を回って、受検してほしいというようなことも含めて、いろいろ学校の紹介や働きかけをするというのは、校長先生の裁量にお任せしているのですか。

【高校教育課長】

今回、倍率が上がった下がったにかかわらず、各校の校長先生は中学校を回られて、その学校で取り組んでいることの説明やPRのようなことは、多かれ少なかれ皆さんやっておられまして、それは学校にお任せしているところです。そういったものも含めて、それが功を奏して増えたところもあると思います。ただ、まだ前期選抜ですので、一般選抜では状況も違ってくると思いますので、そこは一概には前期が多かったのということでは計れないのではないかと考えています。

【岩佐委員長】

他にございませんか。

それでは、その他、何かございませんか。

特になければ、議案第1号及び第2号については、人事案件であることから秘密会としたいと思いますが、いかがでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【岩佐委員長】

異議がないので、秋田県教育委員会会議規則第27条により秘密会とします。傍聴の方は、退室願います。

(傍聴人退席)

※秘密会のまま終了